

分水嶺

鳥取で建学の精神回帰

「鳥取県は、創立者の

一人、岸本辰雄先生（一八五〇―一九二二年）が生まれ育った地。



を盛り込んだ連携協定の狙いを語る。岸本氏は現在の鳥取市出身で、明大前身の明治法律学校の初代校長を務めた。

両大は連携協定の一環として、過疎化が進む鳥取県日南町で共同

この機会に、建学の精神がどこにあるのか学生たちと一緒に思い出してもらいたい。明治大学の納谷広美学長は鳥取大や県との教職員や学生の交流など

研究を検討中。「文系が強い明治と、理系が強い鳥取大が補完し合って、地域活性化を含め特色ある研究を展開していければ」と意気込んでいる。